

特集

# 3つの備えで安全・安心に

# “台風対策”



大雨・台風による災害が発生しやすい季節です。  
万が一のときも安全・安心に過ごせるよう、日頃から備えましょう。

☎ 危機管理担当  
Tel 800-2309 Fax 800-2505

## 1 家周り

● 台風接近前は物干し竿などは  
しまうか、下におろしましょう

● 屋根材のずれや、ひび割れは  
雨漏りの原因になります。  
定期的に点検し、必要に応じて  
修理しましょう

● ベランダの排水溝は詰まりが  
ないように清掃しましょう

● シャッターや雨戸  
が閉まるか確認  
しましょう

● 窓ガラスにガラス  
飛散防止フィルム  
を貼りましょう

● 風で飛びそうなものは、台風接近時  
には家の中にしまいましょう

● 物置などの大きなものは、風で飛ば  
されないよう日頃から固定しましょう

● 排水がスムーズにいくように、日頃から  
排水溝や雨水ますを清掃しましょう

## 2 家の中

停電や断水に備えましょう

- 飲料水
- 食料
- LED ランタン
- 懐中電灯
- モバイルバッテリー
- 電池
- 暑さ対策グッズ
- トイレトーパー
- トイレバック



## 3 いざというときの行動

### 浸水ハザードマップを確認し、安全を確保できる場所を探しましょう

ハザードマップは、予想される浸水の深さを色でわかりやすく示しています。  
まずご自宅周辺の色をチェックし、安全を確保できる場所を探してみましょう。  
ハザードマップは区役所3階305窓口でも配布しています。



▲ 浸水ハザードマップ (泉区版)

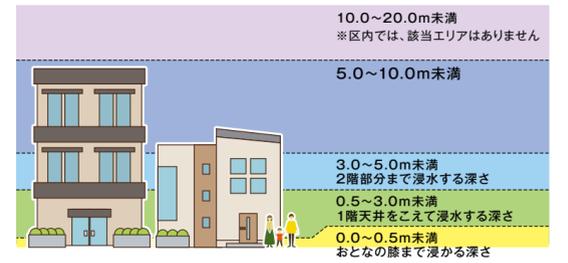


#### 確認のポイント!

- 自宅で安全に過ごせるか(浸水が及ばない高さへ移動できるか)
- 万が一屋外への避難が必要な場合は、どこに行けばよいか  
例)ハザードマップに示す避難場所や、浸水想定のない親せき・知人宅など

身近にある小中学校の全てが、風水害時に避難場所として開設されるわけではありません。行政の開設する避難場所への避難を計画する場合は、実際の避難場所開設状況を市・区ウェブページなどで確認する必要があります。

#### <ハザードマップ上の色と浸水深の目安>



### マイ・タイムラインを作成し、いつ安全な場所に移動するかを決めましょう

#### マイ・タイムラインとは?

大雨や台風などの風水害に対し、落ちていく行動できるよう家族構成や地域の災害リスクなどに合わせて、一人ひとりが作る避難行動計画です。



▲ マイ・タイムライン

#### 作成は「横浜市避難ナビ」がおすすめ!

横浜市避難ナビでマイ・タイムラインを作成しておけば、マイ・タイムラインと連動した避難情報を受け取ることができ、開設中の避難場所や避難ルートの確認もできるため、落ち着いて行動することができます。



危機管理担当  
金子さん

### 災害情報を集められるように準備しましょう

#### 横浜市避難ナビ

ハザードマップの確認やマイ・タイムラインの作成も簡単にできるほか、災害時には気象情報や避難情報の通知を受け取ることができます。



▲ 横浜市避難ナビ

#### 横浜市防災情報ポータル

避難場所の開設状況や避難に関する最新情報、さらに地震や台風などの各種防災情報を確認できます。自宅周辺の河川・遊水地の水位状況も確認することができます。



▲ 横浜市防災情報ポータル

#### 登録すると気象情報などが届きます



▲ 横浜市防災情報Eメール



▲ Yahoo! 防災速報



▲ 横浜市公式LINE

### もっと詳しく知りたい人は!



▲ 泉区防災・災害ウェブページ



▲ 泉区災害対策動画

泉区防災・災害ウェブページや  
泉区災害対策動画を確認するぞん!

